

紙上報告① 第18回「きこえない」を知る二日展  
ミニコラム「デフリンピックにおける合理的配慮」  
第14回「みみネットアカデミー」ご案内

No358 令和7年11月20日  
発行：大阪府立中央聴覚支援学校  
聴覚支援センター



## 紙上報告①

# 第18回「きこえない」を知る二日展



10月3日(金)・4日(土)の両日にわたり、本校文化祭を実施し、400名を超える多くの方々にご来場いただきました。

あわせて、第18回「きこえない」を知る二日展も開催し、今年度は11月に東京で行われるデフリンピックを特集しました。

また、京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社様のご協力のもと、Cotpatの展示も行いました。

本号では、デフリンピック特集の展示内容についてご紹介いたします。

## デフリンピック特集

「みんなでデフリンピックを盛り上げよう！」をテーマに、本校卒業生のデフリンピック選手の紹介を行いました。各選手の活躍の様子を動画で映し出したり、その競技を始めたきっかけや苦労した点や競技の注目ポイントなどのインタビュー記事を展示したりしました。

その他にも、デフリンピックの歴史や競技について、また、公平に競技をするためのルールや合理的配慮について等、デフリンピックで使われるサインエールの紹介を行いました。多くの方がご来場され、熱心に興味深く展示を見ていただき、デフリンピックへの応援のメッセージを書いていただきました。



画像は生成AIで作成

## ～来場者のアンケートより～

- ・デフリンピック行きたいと思いました。
- ・デフリンピック、みんなの興味を引く内容がすごく良かったです。
- ・デフリンピックの競技内容や日時、申し込み方法がわかりやすかったです。
- ・デフリンピックをあまり知らなかったけど、活動を詳しく紹介されていてとてもわかりやすく、私も聴覚障がいがあるので、身近に感じました。
- ・国際手話の勉強になりました。デフリンピックを生観戦してみたいです！
- ・初めて知ったことがあって、びっくりしました。とても良かったです。
- ・今年日本で開催！Goodな企画ですね。



## デフリンピックの観戦について

デフリンピックは、**どなたでも！無料で！**観戦することができます。また、競技会場まで観戦に行けない方も、競技開催時には競技動画が大会HPで配信されます。

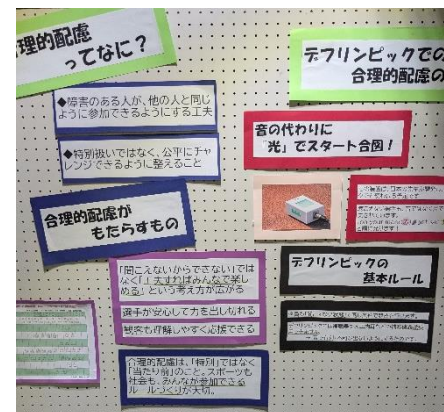
東京2025デフリンピックの競技日程や、大会開催期間中の各会場の混雑状況など、大会に関する情報は公式HP (<https://deaflympics2025-games.jp/Watch-the-Games/>) をご覧ください。

## ミニコラム

## デフリンピックにおける合理的配慮

聴覚障がいのある選手が世界の頂点をめざす「デフリンピック」。そこには、きこえないことを前提にした多くの合理的配慮が組み込まれています。たとえば、スタートの合図には音ではなくフラッシュライトを使用したり、審判の笛や合図を視覚的なフラッグや電光掲示で伝えたりするなど、競技のあらゆる場面で「見える」情報提供が工夫されており、教育現場のさまざまな場面に応用可能な視点だと思います。

これらは単に「特別な対応」ではなく、選手が公平に競技へ参加できるための合理的配慮そのものです。



また、デフリンピックでは、通訳や情報保障スタッフの配置、チーム内での手話通訳者の同行なども制度として整えられています。これは、**言語アクセスを確保することで心理的安全性を高め、選手がパフォーマンスに集中できるよう支援するものです。**

是非、「デフリンピック」で検索して、実際の様子を見てみてください。

## 第14回 みみネット アカデミー

本校には聴覚障がい児教育に関する高度な専門的知識や技能をもつ教職員がおり、その知識・技能の提供および伝達をととしてセンター的機能を果たすため、毎年「みみネットアカデミー」を開催しています。本校が毎月発行している聴覚障がい教育支援情報紙「みみネット」から、さらに一歩進んだ内容となっています。今年度のみみネットアカデミーでは、聴覚支援学校の入口である幼稚部早期教育担当と出口である高等部の首席からお話させていただくことで、みなさんの明日からの幼児児童生徒への支援だけでなく、保護者支援の参考になればと思います。

<期 日> 令和7年12月25日(木)

<対 象> 大阪市および守口市内の学校園の教職員

大阪府下の高等学校および支援学校の教職員

<プログラム>

14:00~14:20 受付

14:20~14:25 開会式

14:25~15:25 講座1 講師：本校幼稚部早期教育担当教諭 只腰 祥

「子どもと保護者の心に寄り添う早期教育相談」

15:25~15:35 休憩

15:35~16:35 講座2 講師：本校高等部首席 上田 章晶

「私の経験から学んだこと、聴覚支援学校高等部について知っていただきたいこと」

16:35~16:40 閉会式

<定 員> 25名

<会 場> 大阪府立中央聴覚支援学校（大阪市中央区上町1-19-31）

<申込み> 右のQRコードからお申込みください。



または、学校園にメール配信している申込用紙に必要事項をご記入のうえ、郵送か通送、またはFAXにて下記までお送りください。

通送便 ▶ 中央区 大阪府立中央聴覚支援学校 支援部宛

郵 送 ▶ 大阪市中央区上町1-19-31 大阪府立中央聴覚支援学校 支援部宛

F A X ▶ 06-6762-1800

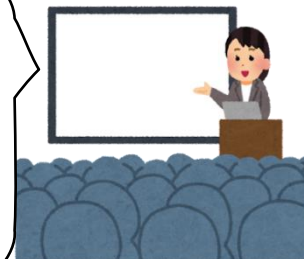
申し込み受付が完了次第、こちらからメールまたは、FAXにてご連絡させていただきます。

### <講師からのメッセージ>

#### 講座1

##### 「子どもと保護者の心に寄り添う早期教育相談」

生まれてすぐの新生児聴覚スクリーニングで「きこえないかもしれない」と告げられた保護者は、驚きと戸惑い、不安といったさまざまな思いを抱えます。その心の揺れをどう受け止め、支援につなげていけるかが早期教育相談の大切な役割です。本講座では、子どもや保護者の心の動きに寄り添いながら、難聴児と保護者を支える早期教育相談の大切さについてお話しします。（只腰 祥）



#### 講座2

##### 「私の経験から学んだこと、聴覚支援学校高等部について知っていただきたいこと」



私がこれまでに赴任した 知的障がいの支援学校（小学部・高等部）、エンパワメントスクール（高等学校全日制）、聴覚支援学校（高等部）での気づきや学び、そしてそれを踏まえて今も大切にしていることについてお話しします。あわせて、本校高等部についても触れ、高等学校との違いや生徒が抱える悩み、それに対する取り組みなどをご紹介します。多様な学びの場において、実践における意識の向上や、子どもたちの適切な進路選択につながれば幸いです。（上田章晶）

<お問い合わせ> 大阪府立中央聴覚支援学校 支援部（担当：金森）

「みみネット」編集部：

大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当：金森、只腰、萩原  
〒540-0005 大阪市中央区上町1-19-31

TEL: 06-7712-1405（支援関係）／ 06-6761-1419（学校代表）

携帯:080-7008-9463（支援部専用）FAX: 06-6762-1800